

# 第5回

●テーマ 「子どもの『今』に寄り添い、子どもと『未来』をきずく」  
～保育臨床の視点を大切に、保育の質を高めよう～

# 幼児教育

●趣旨 すべての幼児教育の現場の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、平成22年度、幼児教育実践学会がスタートしました。

本学会では、3つの柱により学会運営を行います。

- ①発表者には、実践を踏まえた研究発表を行い、できるだけ映像等を使用する
- ②参加者は、生きた研修のメイキングの仕方を学び、地区・都道府県から各園に周知する
- ③保育実践者と研究者が共に育ちあう

# 実践学会

●期日 平成 26 年 8 月 22 日(金)・23 日(土)

●協力 全日本私立幼稚園連合会

●会場 東京都千代田区

1日目/砂防会館・別館(東京都千代田区平河町 2-7-5)  
2日目/千代田女学園(東京都千代田区四番町11-8)

●参加資格 幼児教育関係者

●定員 500人

●参加費 4,000 円

●問い合わせ先(参加の方法、研究発表の方法、学会内容など)

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館4階  
TEL:03-3237-1957 FAX:03-3263-7038

公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

大会の流れ(予定)／大会期日:平成 26 年 8 月 22 日(金)・23 日(土)

## ●第 1 日目 平成 26 年 8 月 22 日(金)

【会場】砂防会館・別館

12:30 — 開会式、表彰式

どの子も伸びる援助

13:30 — 基調講演

～子どもの創造的想像力を育む保育者の役割～

十文字学園女子大学理事・特任教授、お茶の水女子大学名誉教授

内田伸子

15:00 — 休憩

15:15 — 企画シンポジウム

(仮題)園内研修の活性化

玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授

若月芳浩

パネラー：保育者数名

17:00 — 第1日目 閉会



※昼食のご用意はありません。各自でお取りください。

※「表彰式」では、本財団の平成 25 年度優秀教員表彰者を表彰します。

※今年度は、会場の都合により「保育者と研究者の交流懇親会」はございません。

## ●第 2 日目 平成 26 年 8 月 23 日(土)

【会場】千代田女学園

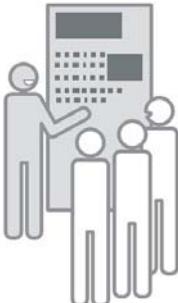
10:00 — 口頭発表【I】(90 分)

11:30 — ポスター発表(120 分)

昼食休憩

13:30 — 口頭発表【II】(90 分)

15:00 — 閉会



※昼食弁当の予約を受け付けます。

※終了後は各自解散となります。

### 園・個人・研究者で研究発表を希望される方へ

○園・個人・研究者での研究発表は、ポスター発表に限らせて頂きます。

### 参加を希望される方へ

第 5 回学会への参加申し込み期間は、平成 26 年 5 月 9 日(金)までです。

○参加を希望される方は、申し込みが必要です。参加者は、「参加申込書」に必要事項を記入し、平成 26 年 5 月 9 日(金)までに、所属の都道府県団体事務局の指示に基づいて、都道府県団体事務局へ「参加申込書」を送付してください。また、参加費 4,000 円も「参加申込書」と同様に、都道府県団体事務局の指示に基づいて、所属の都道府県団体事務局へ送金してください。原則、当日参加は受け付けません。

○定員に達し次第、締め切らせて頂きますのでご了承下さい。

○2 日目(8 月 23 日)の昼食についてお弁当の予約を受け付けます。昼食費は 1,000 円(お茶付)です。申込書で予約してください。当日受付はありません。

## ○幼児教育実践学会の3つの柱

【1】この学会で行う研究は、保育現場での実践を踏まえ、発表は事例を用いて、現場にフィードバックできることを念頭に研究会では参加者同士が活発に意見交換を行う

- ア. 保育実践をより豊かにすることを目指すことから、実践を踏まえた研究であること。
- イ. 研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるようにできれば動画や写真など映像等を用いていく。
- ウ. 保育実践者や研究者など参加者同士が活発に意見を交わすことを大切にしながら保育現場にフィードバックできる生きた研究になることを目指していく。

【2】生きた研修のメイキングの仕方を学び、すべての園の園内研修が充実するように

今、すべての私立幼稚園、一園一園の保育の質の向上、つまり一園一園の保育者、保育者集団の資質向上が求められている。そのためには、対外的な研修もさることながら、各々の園で行われる“園内研修”が質を高めるための根幹となるべきである。園内研修は、日々同僚性の中で効果的に行われ、保育者が仲間に支えられながら自信をもつことができたり、課題を明確にしたり、結果的に保育者集団としての質が高まっていくことが重要である。つまり、比較的経験の浅い保育者の多い私立幼稚園では、保育者同士が互いに同僚性の中で支え合いながらチーム〇〇幼稚園として力を発揮していくことが重要ではないだろうか？

そのために、この実践学会の役割の一つとして、生きた研修のメイキングの仕方を学び実践学会から地区へ、そして最終的にはすべての園の園内研修に活かし私立幼稚園の質の向上を目指す。

【3】保育実践者と研究者が共に育ちあう

今、保育の現場では、研究のフィールドを保育現場におき、子どもにとってふさわしい保育や生活がより豊かになるように実践を理論的に支えてもらえる研究者が求められている。保育者や園長など保育実践者と研究者が本学会をきっかけに出会い、そして共に育ち合う関係を目指す。

## ■アクセス



1日目：砂防会館

地下鉄／永田町駅（有楽町線・半蔵門線・南北線）…徒歩1分

2日目：千代田女学園

JR／市ヶ谷駅…徒歩8分 四ツ谷駅…徒歩8分

地下鉄／市ヶ谷駅…徒歩8分 四ツ谷駅…徒歩8分 半蔵門駅…徒歩5分 鬼町駅…徒歩5分